

# 令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年3月30日

学校法人 多摩川学園

幼保連携型認定こども園 多摩川幼稚園

## I 本園の教育理念・目標

「おもしろいこといっぱい！」

「あかるく、やさしく、たくましく」

## II 重点目標と取組

### 1. 子どもの主体性を育む保育の充実

子どもが自ら考え、選び、行動する経験を大切に、環境構成や保育者の関わり方を工夫した。

### 2. 職員の資質向上と組織力の強化

園内外の研修を通して職員の専門性を高めるとともに、組織体制を見直し意思決定過程の再確認を行うことで情報共有の充実を図った。

### 3. 保護者との信頼関係の構築

日々の丁寧な対応と ICT を活用した情報発信の多様化と頻度を上げることにより、理解の促進に努めた。

### 4. 安全・安心な環境の整備

施設の点検や防災、防犯訓練を通して、安全管理体制の強化を図った。

## III 評価結果

### 1. 園による自己評価（総括）

令和7年度から類型変更した幼保連携型認定こども園として、教育・保育の一体的提供を通じて、子ども一人ひとりの発達に応じたきめ細かな支援と、主体的に生活し学ぶ力の育成に努めてきた。今年度においては、園児数の安定的な確保とともに、教育・保育の質の向上を重点課題として、園全体で取り組みを進めた。特に、子どもの主体性を尊重した保育の展開や環境構成の工夫、異年齢交流の推進により、子ども同士が関わりながら育ち合う姿が多く見られた。また、職員研修の充実と保育実践の振り返りにより、専門性の向上と組織力の強化が図られた。

一方で、保護者への情報発信の在り方や業務負担の軽減などについては課題も明らかとなっており、次年度に向けて改善を図る必要がある。

### 2. 利用者（保護者）調査

結果は下記（参考）のとおりである。全体として高い満足度が得られているが、情報発信の分かりやすさについて課題が見られた。

### 3. 職員自己評価

専門性向上への意識は高いが、業務負担軽減や連携強化が課題として挙げられた。

## IV 学校関係者評価

本園では、保護者や地域関係者の意見及び第三者評価結果を踏まえ、学校関係者評価を実施した。教育・保育内容については高い評価を受けており、子どもの主体性を尊重した保育や丁寧な関わりが評価された。一方で、情報発信の在り方や業務改善については継続的な課題として指摘された。

## V 今後の課題と改善方策

### 1. 情報発信の充実

保護者に対して、園の教育・保育の内容や意図がより分かりやすく伝わるよう、情報発信の方法及び内容の見直しを行う。ICT の活用や文書の工夫により、日々の保育や行事の目的を丁寧に伝える。

### 2. 業務の効率化と働き方改革

フリー保育教諭、事務職員の配置を見直し、業務内容の整理と役割分担の明確化を行い、ICT 活用により効率化を図る。

### 3. 保育の質のさらなる向上

- ・研修と振り返りを通じて専門性を高め、質の高い保育を実現する。
- ・これまで改善要望が多かった給食については、令和8年度から「配膳方式」に変更し、課題を解消する。

### 4. 地域との連携強化

地域資源の活用と交流の機会を拡充し、地域に開かれた園づくりを進める。

## 参考 利用者（保護者）調査結果

実施期間：2025年7月14日～2025年8月1日

※第三者評価結果を基に整理

利用者総数(人)	313
調査対象者数(人)	268
有効回数数(人)	196
回収率	73.1%

項目	満足	やや満足	やや不満	不満
教育・保育内容	78%	18%	3%	1%
子どもへの対応	82%	15%	2%	1%
安全・安心	80%	17%	2%	1%
環境整備	76%	20%	3%	1%
行事内容	72%	22%	4%	2%
情報提供	68%	24%	6%	2%
苦情対応	75%	20%	3%	2%
全体満足度	83%	14%	2%	1%